

# JR東日本労働組合 SENDAI 情報

JR 東日本労働組合  
仙台地方本部

## 「2022年ダイヤ改正について」提案

- ・「今後の業務量の示し方について」
- ・「ワンマン運転の一部運賃収受方法の変更について」
- ・「乗務員区の事務業務体制見直しについて」

仙台支社は12月22日、「2022年3月ダイヤ改正について」他3事案について提案を受けました。

**要求集約は2022年1月20日(木) (第1回組織代表者会議)まで**

<主なやり取り>

### ○「今後の業務量の示し方について」 <別紙あり>

**会社** これまで、箇所毎、職名事、業務量に応じて必要な社員を配置していたが、今後は柔軟な働き方として作業ダイヤに縛られない働き方や、統括センターでの業務の融合の拡大をしていくために、年間を通して、平均的な業務量として変形、交代、乗務員の出面数を示していく。

**組合** 統括センターの設置が示されなかった、宮城、福島地区でも該当するのか。

**会社** 該当する。出面数は箇所毎に忙しい、お客さまが少ない時期を判断し、柔軟に変更することがある。必要な社員数の管理は行っていく。

※この後の事案に示される箇所体制は、「今後の業務量の示し方」によります

### ○「2022年ダイヤ改正について」改正日2022年3月12日(土) <別紙あり>

#### ◆山形新幹線全席指定席、料金体系の見直し

- ・つばさ号上下各8本単独運転。連結を行っていた「やまびこ号」は臨時列車へ

#### ◆磐越西線(郡山～会津若松)の時刻をパターン化

- ・快速「あいづ」全列車4両化
- ・会津若松で列車を区分

#### ◆福島駅アプローチ線工事に伴う、一部、福島～庭坂間バス代行(3本)

- ◆東北本線、米坂線での土休日運転の取止め。東北本線、奥羽本線、陸羽本線、陸羽西線、石巻線の平日運転列車の取止め数 16 本
- ◆出札窓口の縮減 山形統括センター内（山形駅△1、米沢駅△1）郡山駅△1、古川駅△1
- ◆箇所体制の要員数（1日の出面）の内、米沢駅、山形駅、山形運輸区は山形統括センターとして示されています。 <別紙>

### ○「ワンマン運転の一部運賃収受方法の変更について」 <別紙あり>

- 組合 車内精算は行わないのか。
- 会社 ゼロではない。従来通り精算は可能である。両替もできる。
- 組合 この施策について、設置されるものは何か。
- 会社 既に付いているが、運賃箱、運賃表である。防犯カメラは必要に応じて設置するが、多くの箇所を設置されている。運賃箱については、古いタイプの物は、改良された物に更新していく。

### ○「乗務員区の事務業務体制見直しについて」 <別紙あり>

- 会社 乗務員勤務は複雑な為、ジンジャーでは管理できない。その為に輸送総合システムにて手当等を入力している。それをジンジャーシステムに反映させている。各職場で担当を決める際、専門的な部分等、慣れるまで時間がかかる。運車部企画課に一括管理することにより、効率的であり、各箇所での養生がいらなくなり、各箇所での技術継承も必要なくなる。
- 組合 箇所体制に左沢線営業所がないのはなぜか。
- 会社 入力作業は行っているが、事務担当者が行っているわけではないので体制の変更はない。

以上

示される施策にしっかりと向き合い、  
安全と働き易い会社、職場を目指そう！